



一般無差別級決勝戦
 <東京東支部> <福井中央支部>
 ○ 賀数拓海 vs 小林佑次 ×
 本戦 5-0

① 無差別級決勝。序盤、賀数は間合いを計りながらロングレンジの技で小林の消耗を誘った。② 後半は一転して前に出て攻勢に出た賀数。巨漢の小林に打ち勝つ圧力も見せた。③ 終盤のラッシュの中でも上段の技を織り交ぜ、完全に自分のペースで試合を運んだ賀数。④ 初優勝を決めた賀数。東京東支部の仲間たちが胴上げて祝福した



⑤ 無差別級3位決定戦は、西澤が本領を發揮して3位に入賞した。
 ⑥ 無差別級入賞者。左から準優勝・小林佑次（福井中央支部）、優勝・賀数拓海（東京東支部）、第3位・西澤諒（埼玉武蔵支部）、第4位・小池達也（新潟支部）



第10回新潟県空手道選手権大会
 ©2013年9月22日 新潟市東総合スポーツセンター

『小よく大を制す』組手で賀数拓海が新潟県大会初優勝

Text&Photos / 林田哲臣



8



7



9

7 軽量級決勝。高橋の突きのラッシュに大橋は蹴りて対抗。高橋の減点により大橋の優勝となった。8 軽量級3位決定戦。地元・宮川が杉野を制して3位に入賞。9 軽量級入賞者。左から準優勝・高橋一能（西山道場）、優勝・大橋怜平（西東海道場）、第3位・宮川寛也（新潟支部）

一般軽量級決勝戦
 <西東海道場> <西山道場>
 ○大橋怜平 vs 高橋一能 ×
 本戦5-0

10 11 無差別級優勝の賀数拓海（東京東支部）と軽量級優勝の大橋怜平（西東海道場）。今年も優勝の副賞として新潟産コシヒカリ一俵が送られた。12 新潟大会名物の古川師範による特別演武。今年も瓶を豪快に破壊した



12



11

10

各クラスの入賞者は、68ページの『RESULTS』に記載

初優勝を決めた賀数拓海はマットを降りた後、同門の山本和也とガッチリ抱き合い、喜びを分かち合った。

決勝は完勝という言葉しか見当たらぬ見事な闘いぶりだった。巨漢の小林佑次の圧力を殺すために、中盤までは下がりつつ左右に体を変えながら機先を制して打撃を加えていった。後半からは上段や飛び技を駆使しながら、右の内股で左脚に対して確実にダメージを蓄積させた。終盤は動きが止まった小林に対して接近戦を仕掛けて打ち勝ち、押し込む場面も見せた。作戦と技術が合致した『小よく大を制す』組手を見せ、本戦5-0で優勝を決めた。

3位決定戦では西澤諒と小池達也が対戦。トーナメントの優勝候補と目されながら、賀数に敗れた西澤だったが、3位決定戦では持ち味を生かした闘いを見せて勝利した。

軽量級決勝は大橋怜平と高橋一能の闘いとなった。高橋は序盤から得意の突きのラッシュで仕掛け、大橋はそれを迎撃する形となった。手数では高橋が上回るが、大橋は内股や下段を使って対抗した。膠

着状態が続いたが、後半、高橋が顔面殴打、体をつけての攻撃で減点1となり、そのまま勝負が決して大橋の優勝が決まった。

3位決定戦では地元新潟の宮川寛也が杉野史弥を破って勝利した。昨年からは始まった、優勝者への米一俵の副賞贈呈が今年も行なわれ、無差別級優勝の賀数と軽量級優勝の大橋は、トロフィーとともに新潟特産のこしひかりの俵を担いだ。

今年で10回目を迎える新潟県空手道選手権大会。もはや大会中最大の見せ場となった、古川章支部長による特別演武は予想以上にパワーアップしていた。昨年から導入された生演奏は今年も健在、試技に合わせて演奏を行ない、演武を盛り上げた。

定番の瓦やバットはもちろん、昨年観客を驚かせた瓶割は今年も健在。しかも瓶は2つに増え、それを後ろ蹴りと正拳突きで見事に完遂した。

場内のマットなども高段のものになり、10年目を迎えて一つの完成形となった新潟県大会。来年少定される初の北陸大会への期待も高まる。

今年で10回目を迎える新潟県空手道選手権大会。もはや大会中最大の見せ場となった、古川章支部長による特別演武は予想以上にパワーアップしていた。昨年から導入された生演奏は今年も健在、試技に合わせて演奏を行ない、演武を盛り上げた。

定番の瓦やバットはもちろん、昨年観客を驚かせた瓶割は今年も健在。しかも瓶は2つに増え、それを後ろ蹴りと正拳突きで見事に完遂した。

場内のマットなども高段のものになり、10年目を迎えて一つの完成形となった新潟県大会。来年少定される初の北陸大会への期待も高まる。

今年で10回目を迎える新潟県空手道選手権大会。もはや大会中最大の見せ場となった、古川章支部長による特別演武は予想以上にパワーアップしていた。昨年から導入された生演奏は今年も健在、試技に合わせて演奏を行ない、演武を盛り上げた。

定番の瓦やバットはもちろん、昨年観客を驚かせた瓶割は今年も健在。しかも瓶は2つに増え、それを後ろ蹴りと正拳突きで見事に完遂した。

今年で10回目を迎える新潟県空手道選手権大会。もはや大会中最大の見せ場となった、古川章支部長による特別演武は予想以上にパワーアップしていた。昨年から導入された生演奏は今年も健在、試技に合わせて演奏を行ない、演武を盛り上げた。

今年で10回目を迎える新潟県空手道選手権大会。もはや大会中最大の見せ場となった、古川章支部長による特別演武は予想以上にパワーアップしていた。昨年から導入された生演奏は今年も健在、試技に合わせて演奏を行ない、演武を盛り上げた。